

②結城市の長所



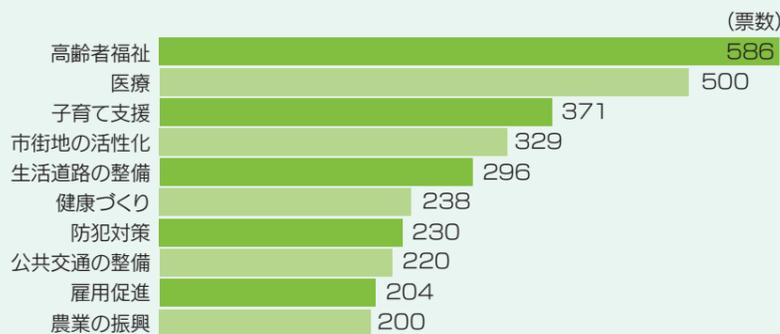
○結城市の長所を「自然環境」と捉える人が最も多くなっています。
 ○「生活環境」、「買い物などの生活利便性」などの日常生活環境や、「結城紬などの伝統産業」、「歴史的な遺産や史跡」などの歴史・文化・伝統に一定の評価をしている人も多くなっていますが、子育て・教育環境への評価は非常に低くなっています。

③結城市の将来像



○「子どもや高齢者が暮らしやすく安心できるまち」が特に多くなっていますが、結城市の長所として「医療・福祉体制の水準」や「子育て環境」をあげる人は少なかったことから、今後は、子育て支援・高齢者福祉・医療を充実させることが課題になると考えられます。

④今後5年間に重点を置いた方が良くと思う施策



○「高齢者福祉」や「医療」が特に多く、「子育て支援」や「市街地の活性化」、「生活道路の整備」も上位にあることから、今後も重要な課題になると考えられます。
 ○結城市の住みやすさで「住みにくい」と感じる人は、「生活道路の整備」や「公共交通の整備」の回答が多いことから、世代や地域特性に考慮しつつ、道路・交通や買い物利便性の施策の充実が重要になると考えられます。

進捗状況を市のホームページで公表しています

今回ご紹介した市民アンケートの詳細な結果をはじめ、策定市民会議や高校生・結城看護専門学校生提案プロジェクトの結果なども掲載しています。



第6次結城市総合計画ホームページ

～市民アンケート調査結果をお知らせします～



高校生・結城看護専門学校生提案プロジェクト



策定市民会議

総合計画は、市の各種施策の基本的指針となるものです。現在、令和3年度から令和12年度までの10年間の期間とする「第6次結城市総合計画」の策定を進めています。
 今回は、策定のための基礎調査として実施した市民アンケート調査結果（抜粋）を報告します。多くの皆さんからご回答をいただき、ありがとうございました。

調査方法・回答者数

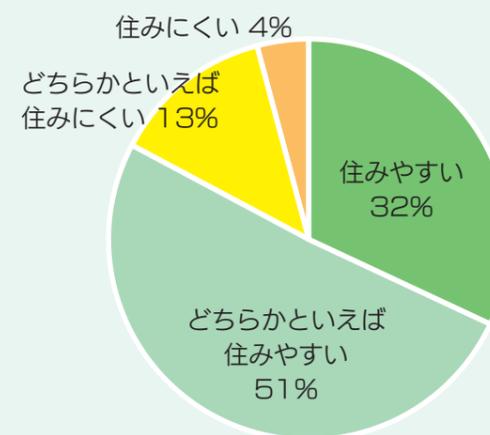
- 調査期間：令和元年9月2日～9月30日
- 調査対象：満18歳以上の市民3,000人（無作為抽出）
- 調査方法：郵送による配布・回収
- 回収結果：配布数 3,000票
回収数 1,277票
回収率42.6%

調査結果

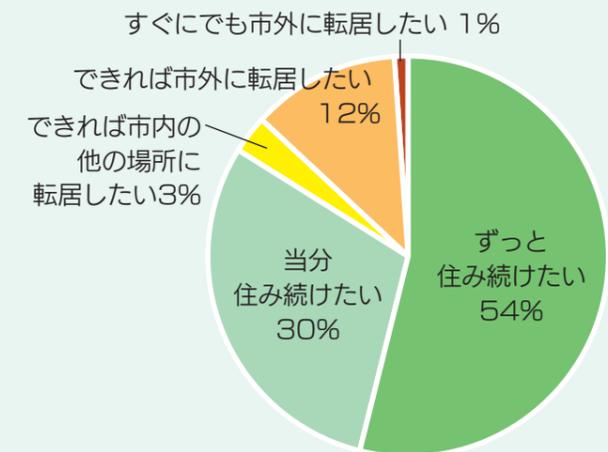
①市の住みやすさ、定住意向について

○83%の人が「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答しています。
 ○「結城市にこれからも住み続けたいか」という質問に対しては、「ずっと住み続けたい」「当分住み続けたい」と考える人が多いものの、若年層では「ずっと住み続けたい」と考える人が少なくなっています。
 これらのことから、若い世代の定住を促進するための雇用環境や通勤・通学の利便性の向上が課題になると考えられます。

【結城市の住みやすさ】



【定住意向】



第6次結城市総合計画を策定しています
 誰もが安心して暮らせる持続可能なまちづくり